

SEIBU・PIANO TIMES

2002

No. 10

ピアノをきれいにしよう!!

時にはピアノをよ〜くながめてみよう。思った以上に汚れているのかわ見えてきてびっくりするはず。フタの部分なんて特に手アカ汚れがペタペタ♡さあ、今日はピアノを磨いてみよう!

まず! 外装の汚れを落とす すっぴり!

- かくと絞ったぬれた布 (ネル・ガーゼ・Tシャツ地など目の細かいやわらか〜い布) で、拭き取る。
- その後、必ず同じく柔らかい布でカラ拭きをする。
- ※まれに「カシュー」という塗料で塗装してある場合は水拭きは避け、カラ拭きのみにする。「カシュー」であるかどうかは「茶色の汚れがいつまでも出る」「におう」が判断のポイント。目立たないところで水拭きをして確かめる。

次に 研磨剤でみがく すっぴり!

- 粒子が1ミクロン以下の微粒子タイプの研磨剤を用いる。先程と同様、目の細かいやわらか〜い布で。塗面にこびりついた汚れや細かいキズを削り落とす。
- ※粒子の荒い研磨剤や磨きすぎは、かえってキズを増やしてしまうので慎重に。丁寧に。やりすぎると塗装がはげることもある。

そして 艶出し仕上げをする ピッカピカ〜

- 再び、ゴミや汚れがつかないように、艶出し剤を使ってコーティング仕上げをする「ピアノ専用」のものが材質的にも合っていて仕上がりもGood! この時も必ずやわらかい布で丁寧に。
- ※「カシュー」の場合は逆効果。「カシュー」はこまめに空ブキを。

鍵盤を拭く

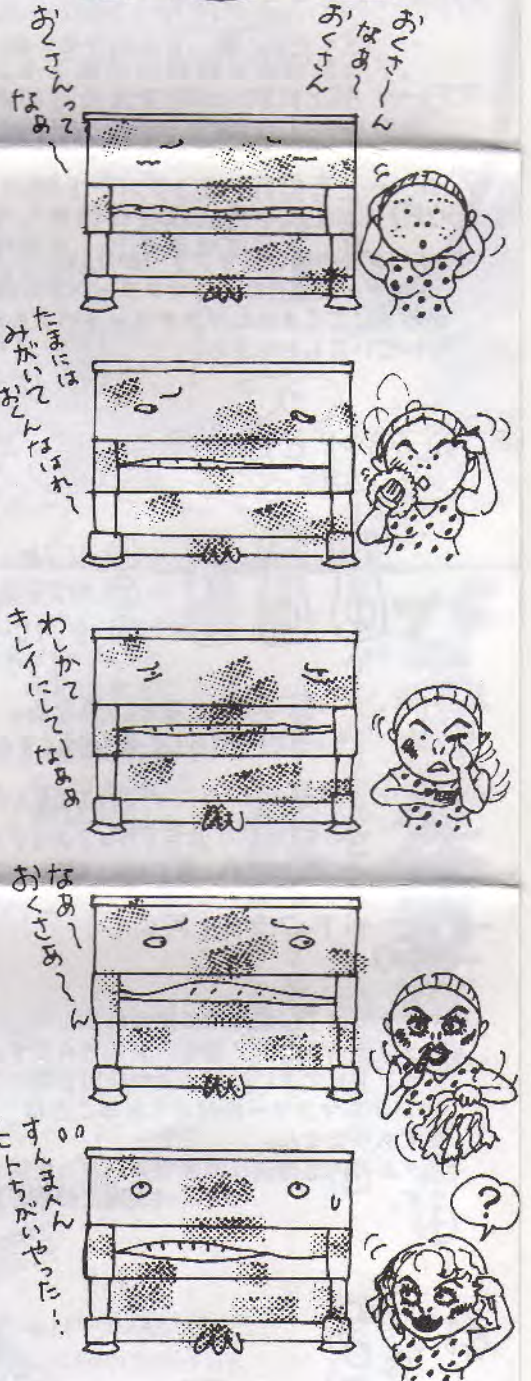
- 外装と同じくやわらかい布でかくと絞って水拭き、そしてカラ拭きをする。
- ※キークリーナーを使って艶出しの仕上げをしても良いが人によって指がひっかかるとかなることもあるので好みで。

ん〜
気持ちイイッ!

☆更にキレイにしたい場合はリニューアルをおすすめします。

- 外装キズ直し・全塗装で新品のように・好きな色に変えて気分一新
- 鍵盤の汚れ落とし、張り替え、研磨・フェルトの張替と整形
- 金属部分の錆落とし研磨・ネームや蝶番・鍵穴をピカピカに、ペダルも新品のように! etc

つばやきピアノのケア



おしえて! Q&Aコーナー

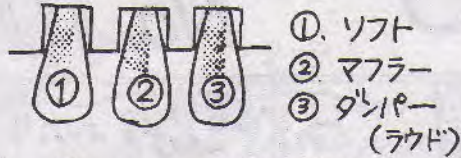
ピアノも電子ピアノもおなじ?

使い勝手はどちらもあまり変わらないように思えるけれど...
 ピアノの先生は「できればピアノを買った方が...」と言います。
 その理由もこれを見ればお発見できるかな。

Q. アップライトピアノと
 グランドピアノのペダルに
 ついて、違いを教えてください。

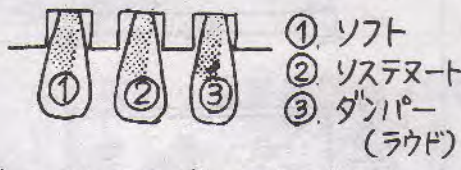
A.

♪ アップライトピアノの場合
 ・本数～3本(古いものは2本)



- ・ソフト... 弦とハンマーの距離を縮め弦をたたく勢いをへらして音を弱くする。
 - ・マフラー... 弦とハンマーの間にフェルトをかませて音を吸収させ小さくする。(弱音装置)
 - ・ダンパー... 止音部品であるダンパーを解放して(ラウド)音を残し響かせる。
- ※2本ペダルの場合はマフラーがない。
 3本ペダルの場合にも、マフラーペダルかわりにごくまれにソステヌートペダルがついているものもある。

♪ グランドピアノの場合
 ・本数～3本



- ・ソフト... ハンマーを横にすらし当たる弦の数を減らして音を弱くする。
 - ・ソステ... 鍵盤をたたいてペダルを踏んだ時その部分だけ止音部品であるダンパーが解放され、音を残し響かせる。
 - ・ダンパー... アップライトと同じ(ラウド)
- ▲マフラーは主に家庭用に使われるアップライトピアノ独特のシステムです。グランドピアノには構造上や使用目的のちがいからマフラーが付けられることはまずありません。ペダルの内部構造は機種やメーカーで異なります。(次回につづく)

種別	ピアノ	電子ピアノ
音色	・ピアノ本来のやわらかい音色で表情豊か ・ピアノの音色のみ	・電子音表情に乏しい ・色々な楽器の音色が楽しめる
表現力	・無限大	・強弱程度
タッチ	・好みに調整できる	・調整ができない
機能	・ピアノとしての機能のみ ・消音システムの後付け可 ・消音システム付けは多機能 (録音・再生・多種音色) ヘッドホン使用など	・録音・再生・多種音色 ヘッドホン使用・リズム機能など多機能。新しい程、色々な機能が增える。
メンテナンス	・外装、内部共にリニューアル可能 手入れ次第で一生物の ・音色の修正(整音)可 ・部品が消耗しやすいのでマメに手入れが必要 ・要調律	・交換部品ある間だけメンテナンスが可能(法定は3年) ・調律不要 ・電気部品の為故障があるとユニット単位の交換が必要。費用は割高
ハンデ	・弾く時間が制限有。(消音付は24時間OK)	・24時間OK ・電源がないと音が出ない
苦手なもの	・湿気・ゴミ	・停電・湿気・ゴミ
価格	・比較的高価	・比較的安価
価値の変化	・古くてもコンディション良好ならそれなりの価値	・3～4年すぎると価値¥0
寿命	・手入れ次第で長寿100年モノ!! も一般的	・5～10年(要は電化製品と同じ)
移動	・専門業者にまかせる(重量があるため)	・自分でも動かせる

ピアノと電子ピアノ

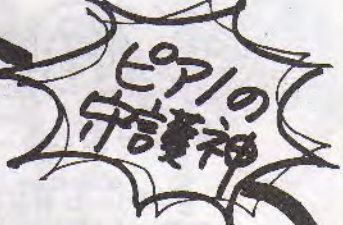
ちがいがわかる
 ポイント別比較研究



電子ピアノの魅力は何かとお手軽に楽しめること。でも、基本はやっぱり電化製品、表現力の点ではピアノに勝ることはできません。指先から発せられるピアニストの心を確実にキャッチできるピアノってやっぱり素敵です。



乾燥剤を使いまえ!!



ピアノ専用乾燥剤 NOVA・SPです。

あなたの大切なピアノには、ぜひ私をお使い下さい!
専用の乾燥剤の中でも、私はもっともすぐれています。

私のすごいところは

吸湿だけでなく放出もして常にピアノにとって
ベストな 60% 前後の湿度に保ちます。

長期間
効果を持続します

防虫、防錆、脱臭の効果もあります。

安全性が高く、使用後は土に還せる(!)エコなやつです。

原料が天然ゼオライトなのでシリカゲルよりも吸湿性が高いんです。

どうです?!

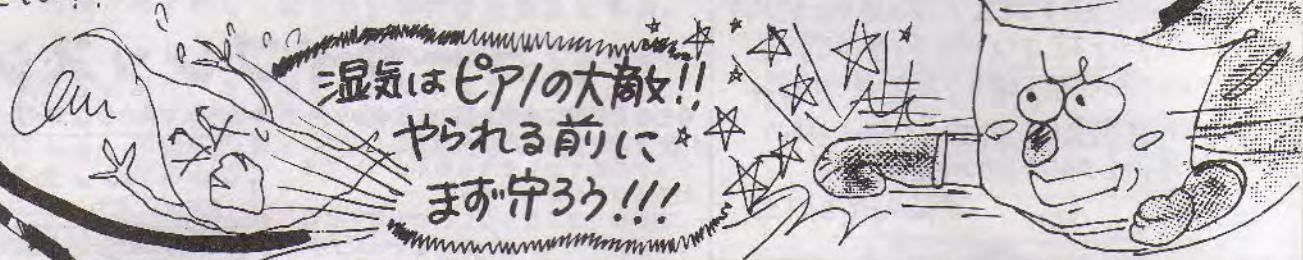


湿気にやられてしまくと??

ピアノの材質は、木、金属、フェルトetc、とにかく湿気に敏感なものばかり。
木やフェルトはふくれ、金属は錆びて、部品の動きが大変悪化します。
弾きにくくなるのはもちろん、ひどくなると修理代も大変、楽器としての機能も価値も低下。

乾燥剤なら...
なんでもかわり
ないのでは??

「適湿に保つ」「効果の持続性」では絶対ピアノ専門のものを使うべき。
中に水がたまるタイプのは「逆に湿気が出る」「効果が短い」「雑音の原因となる」という点で、ピアノには不向きです。

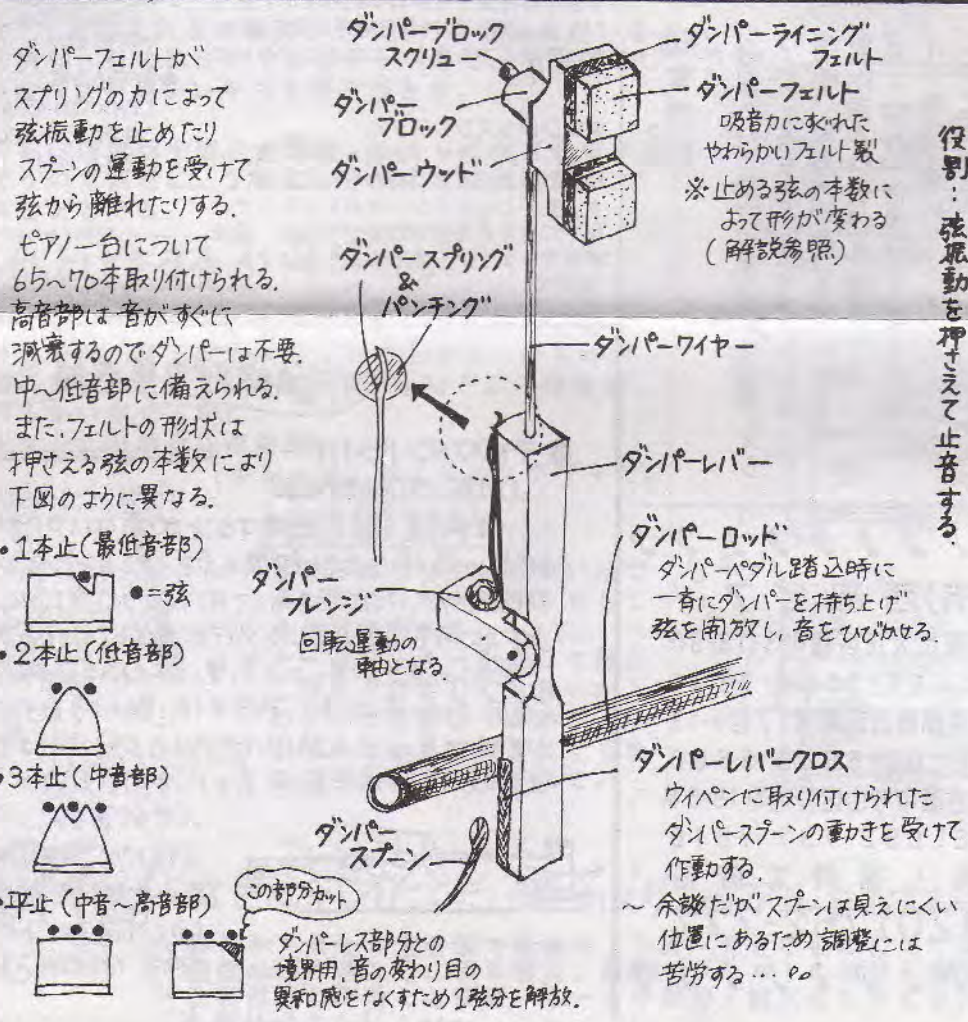


現代ピアノ辞典

ピアノの解体新書

ダンパーアッセンブリー (アップライト)

材質...しでかえで、プラスチックなど
役割: 弦振動を抑えて止音する。



PIANISM P

キーカバー (名) (Keycover)

鍵盤を保護するためのフェルト製の覆い。色は主にえんじ、赤。ピアノのメーカー名などが記されている。汗など湿気を吸収するという役目をする。また使用後にしき忘れられる原因の一つでもある。